

建築神事概要（建築神事とは？）

建築神事は、新たに家などを建てる際に、その土地の神さまに奉告し、工事の安全と居住者の繁栄をお願いします。また、建物・工匠の神さまに建物の堅固を祈り、完成後は、感謝の気持ちをこめて奉告し、竣工を祝います。

その他、入居前の入居祓、家を取り壊す際の解体祓など、様々な建築神事があります。

人生儀礼概要（人生儀礼とは？）

日本では古くから誕生・成人・結婚という人生の大きな節目ごとに、様々な儀礼が行われてきました。これらは人生儀礼（通過儀礼）と呼ばれ、『神』を祀って行われてきました。人生儀礼を経る事によって、人は一人の人間として社会の中で認められていくこととなります。つまり、人生儀礼は人間形成にとって大変重要な意味合いを持っているのです。



祝祭日には国旗を掲げましょう

玉串拝礼の作法

拝礼時の作法は、祭壇に於いても神社での参拝と同じ、二拝（礼）二拍手一拝（礼）です。玉串を受け取り神前に進み、まず軽く頭を下げ、玉串を時計回りに回して案（台）の上に納めます。次に二拝（深くお辞儀をする）し、次に拍手を二度、次に一拝します。そして、退くときにはまた軽く頭を下げます。



建築神事

■地鎮祭 しじちんさい

地鎮祭とは、家を建てるにあたりその土地の神さまをまつり、土地を祓い清めて工事の無事安全と土地・建造物が末永く安全堅固であることを祈願する、建築神事で最初に行われる重要なおまつりです。



上棟祭

■上棟祭 しじょうじさい

上棟祭は「棟上げのまつり」とも「棟上げ」「建て前」ともいわれます。建物の棟上げをする時に、家屋の守護神や工匠の神さまをまつり、新築される建物に末永く災いが起こらないように祈るおまつりです。

■竣工祭 ししゅんこうさい

竣工祭は「竣工祭」とも書き、一般の家庭では「新宅祭」又は「家祓」ともいいます。この時に新しく神棚を設けて、無事に家が完成したことを神さまに奉告し、建物全体を祓い清めて家庭の安全と繁栄を祈ります。

■入居祓・解体祓 しにゆうきよばらい・かいたいばらい

入居祓は入居する前に各部屋を祓い清め、今後の家屋の安全と家内の繁栄を祈るおまつりです。また解体祓は、今まで住んでいた家を取り壊す前に今日までご守護戴いた、家の各所の神さまに感謝するおまつりです。



地鎮祭

※各種神事は古くから伝わる大切なおまつりです。詳しくは氏神さまの神社にお問い合わせ下さい。

人生儀礼

■安産祈願 くあんざんきがんく

安産祈願とは神さまから大切な子宝を授かったことに感謝し、妊娠約五ヶ月目に神社にお参りすることをいい、「帯祝」や「着帯の祝い」ともいわれ、人生儀礼の第一歩とされています。また、安産祈願を「戌の日」に行うのは、お産が軽い犬にあやかるうという謂われから成り立っています。



初宮詣

■初宮詣 くはつみやもうでく

産まれてきた赤ちゃんが初めてその土地の守り神である産土神（うぶすなのかみ）にお参りする行事です。子供の健康と成長、そして今後のご加護を願うおまつりです。

■七五三詣 くしちごさんもうでく

七五三祝は男女三歳（髪置・かみおき）男児五歳（袴着・はかまぎ）女児七歳（帯解・おびとき）が綺麗に着飾り、親と一緒に宮参りをする行事です。成長段階の一つの区切りとして、健やかな成長をお祈りします。



七五三詣

■成人式 くせいじんしきく

二十歳を迎えるこの時をもって、子供から大人への仲間入りをし、社会人としての自覚を持ち、これから一人前の大人として誓いをする儀礼です。冠婚葬祭の『冠』にあたります。

■結婚式 くけつこんしきく

人生の中で最も華やかで重要な節目の儀礼です。神さまのお導きによって結ばれた縁に感謝し、長い一生を互いに尊敬しながら平和な家庭と子孫の繁栄をはかって行く事を神前に誓います。



結婚式

■厄祓 くやくばらいく

厄年は古来災難が多く、行動や振る舞いは慎む年であるとされています。一般的に大厄は数え年で、男性が二十五・四十二・六十一歳、女性が十九・三十三・三十七歳です。厄年には神社に参詣して、災いを福に転ずるために厄祓をうけましょう。

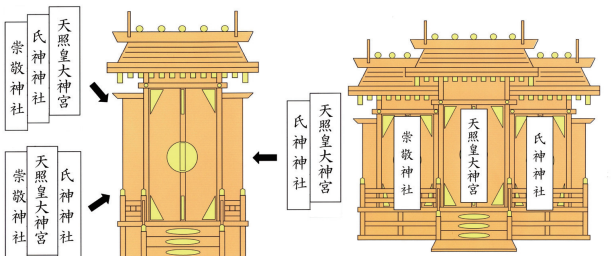
※地域により異なりますので、詳しくは氏神さまの神社にお問い合わせ下さい。

■歳祝 くとしいわい

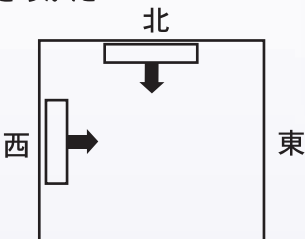
歳祝とは、数え年で長寿を祝う人生儀礼のひとつで、主に以下のお祝いがあります。

還暦	六十歳	卒寿	九十歳
古希	七十歳	白寿	九十九歳
喜寿	七十七歳	百寿（上寿）	
傘寿	八十歳	百歳	

神棚のまつりかた



おふだ 御神札のおさめかた



神棚をまつる方角



神棚の写真（例）

神棚の設置場所は、最も清浄で明るく静かな高い所、且つ神棚から見て南向きか東向き、或いは東南向きが最も良いとされています。中央の御扉には天照皇大神宮（神宮大麻）、向かって右に氏神（氏神さま）、向かって左にその他の崇敬する神社の御神札をおまつりします。御扉が一つの場合は、一番手前から神宮大麻、氏神、崇敬神社の順におまつりします。

神棚にはお伊勢さま（神宮大麻）と氏神さまの御神札をおまつりしましょう。